

全トヨタ労連 飛騨ふるさと村アクティブガイド

2019 vol.8

春・夏号

荘川Style

特 集

荘川地域の歴史

後世に伝えたい実話。



全トヨタ労働組合連合会





御母衣湖に沈む運命に託した未来。

静かに佇む御母衣湖。

この御母衣湖に沈んだ村と、そこに作られたダム of 歴史を知っていますか？

この美しい景色は、人々の葛藤と苦労の上に作られたものなのです。

1 ダム建設予定地にあった村

稲田や合掌造りが素晴らしい豊かな農村「白川村」と「荘川村」。その白川村の一部と荘川村のおよそ1/3にあたる地域が御母衣湖の下に沈みました。

当時は稲作の研究と村民の努力により、平野部にも劣らぬ米の収穫量を誇り、野菜や山菜もふんだんに収穫でき、村は潤っていました。

しかし、昭和27年(1952年)、政府によりこの地にダムが建設されることが公表されました。

水没予定地とされた荘川地域だけでも

240もの家々、1,200

人の村民が住んでいます。

もちろん村民は

反対運動を起こすこ

とを決意しました。



御母衣湖水没地域

2 この地域にダムが建設された理由

第2次世界大戦後の経済復興のまっただ中、日本は各地で電力不足に陥りました。工場などの業務停止、一般家庭の停電も珍しいことではありません。“空前の電力危機”と言われるほど、電力不足は深刻でした。

荘川村の中心部を流れ富山湾に注ぐ「庄川」は、積雪量や降雨量が多く、水力発電に最適な河川でした。国は庄川の上流部に巨大なダムを建設し、大貯水池を作ることになりました。御母衣ダムで発電を行うだけでなく、庄川下流にある既存のダムの水量を安定させ発電電力の増強もすることで、より安定した電力供給ができると思ったからです。



御母衣ダム



ふるさとは 湖底となりつ うつし来し

この老桜 咲けとこしへに (高碕達之介)

3 御母衣ダム建設へ

御母衣ダムの建設に着手した電源開発株式会社の総裁「高碕達之介」は、反対運動を行う村民達と何度も会い、時には涙しながら、膝詰めで話し合いを行いました。誠意ある交渉の末、電源開発株式会社と村民が歩み寄ることができ、昭和35年(1960年)東洋一と言われたロックフィルダム※“御母衣ダム”が完成し、御母衣湖という人造湖が姿を現したのです。

※主に岩石を使用したダム



中野小中学校があった場所の現在の様子
右側に光輪寺の跡も見える

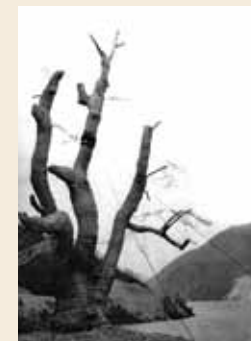
4 荘川桜、移植

高碕氏は水没予定地を視察中に光輪寺にあった立派な桜を見て、桜を残すことを決意。桜博士と言われている「笹部新太郎」に桜移植プロジェクトを依頼しました。笹部氏は同様の巨木であった照蓮寺の桜とともに、ダム湖面を見下ろす高台に移植することにしました。当時すでに樹齢400年以上という老木であり、外傷に脆弱な桜を移植するのは困難を極め、武骨な幹だけの姿で移植された桜に、村民の目は冷やかでした。

しかし、この2本の老木はもとのように大きな枝を天に広げ、可憐な淡いピンク色の花を咲かせました。こうして、困難な移植を乗り越えた2本の桜は「奇跡の桜・荘川桜」と呼ばれるようになったのです。ダムの底に沈んだ故郷を見下ろしながら、この2本の老木は今でも人々に生きる尊さを教えています。



光輪寺



荘川桜 移植後





飛騨の人々を守った父と、 父を守った息子の親子の絆。

飛騨の人々のために流罪に処された父親と、
その父のために流刑地まで辿り着いた息子。
莊川と新島（現東京都新島村／伊豆諸島）に渡る親子の絆の実話です。

1 大原騒動と甚兵衛

豊かな森林が広がる飛騨地方では、林業が盛んに行われていました。
ある日、大原彦四郎という代官が飛騨に派遣されました。大原は木材の切り出しを禁止し、年貢を増率するなど、強引な政治を行い、農民は貴重な仕事を奪われたことにより、大きな反対運動を起こします。これを「大原騒動」と言い、磔4人、獄門17人を含め、農民側に1万人もの犠牲者が出る大きなものでした。
高山町（現高山市）の造酒屋「上木家」の養子であった裕福な町民「上木甚兵衛」は終始農民の味方をし、活動資金としてお金を貸し出したりしたため、町人の中でただ1人流罪に処され、62歳の高齢で伊豆諸島の新島に流されることとなりました。



2 飛騨ん爺（ひだんじい）

新島に流された甚兵衛は島の子どもたちに読み書きを教えたり、島の教養人と交流して俳句の連座に加わったり、上木家から送られてくるお金から寺に寄付をしたりして、島の人たちから愛されるようになりました。愛称は「飛騨ん爺」。しかし、甚兵衛はある日発作を起こして砂の上に昏倒します。幸い一命は取り留めましたが、中風（脳血管障害）の後遺症が残る不自由な身体になってしまいました。



上木甚兵衛肖像



こればかり 残る涙や 石の露 （三島勘左衛門）

甚兵衛と勘左衛門の句（新島）



3 息子、勘左衛門

甚兵衛は白川郷一色村（現莊川町一色）の「三島家」に生まれたのち、その高い教養を見込まれ上木屋の養子となっていました。しかし、その後三島家は跡継ぎが亡くなるなどしたため、甚兵衛の次男の勘左衛門を養子にして、跡継ぎとしました。
勘左衛門は不自由な身体になった父のため、渡島することを決意し、江戸へ上京。しかし、島に行くには罪人の名目で流人船に乗る必要があります。親孝行であると知った奉行所は勘左衛門に温情をかけ、一夜だけ牢で過ごすことを命じ、父のいる新島に渡ることを許しました。



江戸～明治の三島家
合掌造であったことがわかる



旧三島家（莊川の里）

勘左衛門歌集
「深山世婦子鳥」の写し
新島に渡る際につづいた「辞世の句」が書かれている（式部の庵所蔵）



4 孝行息子

9日間の船旅を終え会った父は年老いており、勘左衛門はただただ泣きながら手を硬く握るのでした。父の腰を擦り、足を撫で、看病の合間に水を汲み薪を拾い、浜に出て魚を求めました。また、魚場の帳面をつけたり、医書を学んで島人を治療するなどして生計をたて、その献身ぶりは島の人々の心を打ちました。それらは幕府をも動かし、米や金などをたびたび下賜されていました。
8年ののち、甚兵衛は罪人のまま波乱に満ちた人生を終えました。勘左衛門はその後1年間島にとどまり、念仏を唱えながら父の墓と合掌する自分の石像を彫り、その胎内に法華経を収め、莊川に帰ったのです。この墓には現在も新島の人によって日々花がたむけられています。そして毎年8月には莊川町の小学生が新島に行き、三島家裏山の清水をお墓にかけてお墓参りをしています。今でもこの親子の絆は忘れられることなく、受け継がれているのです。



新島（東京都・国立公園伊豆七島）



上木甚兵衛の墓と勘左衛門の自刻像

御母衣ダムの歴史を辿る



MIBOROダムサイドパーク 御母衣電力館・荘川桜記念館

ここでは、御母衣ダムが作られた歴史を紹介しています。ダムの立体模型や荘川、白川郷の風土と生活の資料、荘川桜の来歴なども展示。映像で遊ぶ装置などもありファミリーでも楽しめます。また、ダムの上を歩き、御母衣湖の美しい景観を眺めることもできます。詳しくは館内スタッフにお尋ねください。

住 所	岐阜県大野郡白川村大字牧140-1
電 話 番 号	05769-5-2012
ホームページ	http://www.sakura.jpowers.co.jp/access/acc00200.html
入 館 料	無料
定 休 日	水曜日 ※但しゴールデンウィーク(4/29～5/5)、夏休み期間(7/21～8/31)、紅葉期間(10/10～11/10)は無休。冬期(12/16～3/14)は閉鎖
営 業 時 間	9:00～16:00
ア ク セ ス	荘川ICから車で約25分



来場記念に
ダムカードを
もらおう!!



■ 御母衣シアター

御母衣ダム建設と荘川桜移植の心温まるドキュメンタリー映画(約17分)



■ 発電アドベンチャー

魚型の潜水艦に乗って御母衣ダムなどを探検する映像アトラクション



■ 荘川桜の写真展示

写真家・前川彰一氏の撮影による写真を合計19点展示



御母衣湖

御母衣ダムによってできた人造ダム湖。堰堤の一部が展望台になっており、眺めが美しい絶景スポット。



荘川桜

御母衣湖に沈んだ村にあった老木を移植させた、奇跡の桜。麓には高碇達之介の歌碑がある。

甚兵衛と勘左衛門の歴史を辿る



荘川の里(旧三島家)

上木甚兵衛が建築を指図し、当時13歳だった息子、三島勘左衛門のために作った屋敷「旧三島家住宅」が移築されています。建築当時のたたずまいを良く残しているとして、昭和47年(1972年)に岐阜県重要文化財に指定されました。旧三島家の他にも高山市文化財4棟が移築保存されています。

住 所	岐阜県高山市荘川町新渚
電 話 番 号	05769-2-2681
ホームページ	http://www.hida-ouka.jp/shoukawa.html
入 場 料	大人／400円 子ども／200円
定 休 日	水曜日(祝日の場合は要確認)
営 業 時 間	10:00～16:00
営 業 期 間	4月中旬～11月下旬(12月～3月は休館)
ア ク セ ス	荘川ICから車で約3分



郷土料理 喜之助 式部の庵

三島家がかった場所にある御食事処。建物は三島家住宅を模しており、裏手の山には勘左衛門のお墓があります。

岐阜県高山市荘川町一色
73番地
アクセス／荘川ICから車で約2分

(詳細は次ページへ)

オススメ

郷土料理 喜之助 式部の庵



可愛いネコの
小物も必見!



MENU

- ・うどんセット……………1,300円
- ・蕎麦がき……………1,000円
- ・雪見とろろうどん……………700円
- ・そば揚げだんご……………300円
- ・山野草の天ぷら……………500円
- ・どぶ汁……………300円
- ・ほんこさま御膳……………2,000円(要予約)
など



雪見とろろうどん



蕎麦がき

郷土料理 喜之助 式部の庵

住 所 岐阜県高山市荘川町
一色73番地

電 話 番 号 05769-2-2191

定 休 日 水曜日(※水曜日が祝祭日の
場合は営業、翌日休み)

営 業 時 間 11:00~14:00
(※14:00以降は要TEL)

ア ク セ ス 荘川ICから車で約2分

荘川の味を、甚兵衛が生まれた場所で

伝統的な日本家屋の店内に入るとたくさんの楽器が並ぶレトロな空間に、シックな音楽が流れています。ここは、荘川の里に移築された家屋「旧三島家」があった場所であり、建物も三島家を模したもの。

メニューは大豆をすって作った「どぶ汁」や、その汁をつゆとして使ったうどん「雪見とろろうどん」、「そば揚げだんご」など。荘川伝統の郷土料理が食べられます。素敵な空間の中で歴史を感じながら、舌鼓を打ってみませんか?

= 飛騨ふるさと村の総合案内所 = 「全トヨタ労連 飛騨ふるさと村役場」



是非こちらに
お立ち寄り
下さい!

飛騨ふるさと村役場
事務長
益戸貴美枝さん



組合員とその家族のための飛騨ふるさと村。そのインフォメーション・センターの役割を担うのが「飛騨ふるさと村役場」です。古い民家を利用した建物にはスタッフが常駐し、「村民手帳」の発行や宿泊の受付、現地案内、イベント企画、組合ごとの研修会などの業務を行っています。

飛騨ふるさと村役場 岐阜県高山市荘川町中畑 05769-2-3055 もっと詳しい情報はWebへ!

飛騨ふるさと村役場

検索

定休日: 毎週火・水曜日 / 時間: 9:00~16:00